

トラック 191

サン・タンダレ市在住の女性の二人組

「一人目」

私が生まれたのは1928年9月23日。18歳で結婚して子供は5人、いや9人いる。6人は生きているが他の子たちは死んでしまった。私は子供を育てていたので働いたことはない。子供の世話をしていたんだ。夫は働いていて、子供たちは大きくなって結婚した。今は子供はみんな結婚している。他にはなんだろう。お年寄りの面倒を見たよ。（高齢者向けの）クラブを作ってね。クラブはもう30年続いている。それから旅行をしたし、今でも旅行している。当時のレユニオンでの生活と比べたら生活は変わったよ。昔は今ほど物はなかったけど、それでも楽しかった。今は快適に暮らすにはお金がないとね。そんなところだね。

「二人目」

私は日本に行ったことあるよ。船旅で。日本、韓国、上海、何て言ったっけ、そう万博を見に行ったらよ。去年の7月だった。私は44年生まれで子供はいない。夫は亡くなって一人なんだ。仲間のデュベルヴィルさんと一緒にお年寄り（への奉仕）にかかわっている。私たちより幾らか上の人、同じぐらいの年齢、それにちょっと若い人たちを外出させることをやっている。みんな今という時代を生きようとしているんだ。昔はお金は今ほどなかったけど今よりも楽に暮らしていた。派手なものを求めずに、あるもので生活していた。それでうまくいっていた。たくさん要らなかったけど、今では時間がたてばたつほど、ますますいろいろ必要になっていく。今、医療は進んでいるし（福祉の）手当でもあるからお年寄りは前より長く生きている。ものがあればあるほどさらに欲しく

なる。昔はほんの少しのもので満足していたし、みんな自分の家から出なかった。両親の家にね。私もお父さん、お母さんや祖父母の世話をしたもんだよ。私のお母さんは店をやっていて、お父さんはというと、労働者として働いていた。だから収入はそんなたくさんなかったけど、子供を育てるには十分だった。子供は15人いたけど4人が亡くなって残りは11人。穀類を食べていて、日曜日だけ肉がほんの少し出たけどそれで十分だった。今は、毎日肉が食べられるけど、それで幸せだというワケでもないよね。そんなもんだね . . .。